

# もりおか mirai おでかけミーティング実施報告書

開催日時	令和6年11月14日（水）午後5時～午後7時			
開催場所	岩手大学 学生センターB棟1階多目的室			
出席者	鈴木 聖 子	中 村 雅 幸	鈴 木 真 吾	大 畑 正 二
	千 葉 伸 行	縄 手 豊 子	佐 藤 明 彦	中 村 亨
	浅 沼 克 人	神 部 伸 也	山 崎 智 樹	豊 村 徹 也
	三田村 亜美子	太 田 隆 司		
	岩手大学学生 19 人			

## 【開催内容】

鈴木聖子議員及び中村雅幸議員の司会進行により、大畑盛岡市議会副議長の挨拶の後、「盛岡市の 10 年後の未来」をテーマにSOUNDカードを使用したワールドカフェ方式による意見交換を行った。

参加者の所感等は次のとおり。

### 1 参加学生の所感

#### ○参加しようと思った理由

- ・参加者が足りないと話があったため。実際参加したらとても勉強になった。
- ・議会の人と話をしてみたかったことと、こういう場に参加したことがなかったから。
- ・学生議会に所属しており、誘われたもの。
- ・先生に声をかけられたから。
- ・学生センターからの紹介。
- ・政治などに興味があったため。
- ・普段得られない知見を得られると思った。また岩手大学と盛岡市議会のつながりはどのような感じなのか興味があった。
- ・実際に政治に携わっている人の考えを知りたいと思ったから。
- ・議員の人と話す機会はあまりないため興味を持った

#### ○得られたもの

- ・盛岡に住んでいるという自覚。
- ・様々な立場の方の意見を聞いたので、いろいろな視点から盛岡を見るきっかけになった。
- ・盛岡市に対する意識を大きく変えることができ、盛岡に必要なものや改善する必要があるものを知ることができた。

- ・議員の方々も考えている問題が同じだとわかり、盛岡に住んでよかったという気持ち。
- ・議員の方々がどのような気持ちで活動してるのか、市議会はどういう場なのかを知ることができた。人から聞いて改めて盛岡の良さに気付くことがあった。
- ・自分が学んできた中で得た考えに対して、他の学生や議員からのフィードバックをもらえて参考になった。
- ・いろいろな年齢層の方の意見をまとめることの難しさ。
- ・議会や政治に対する親近感。
- ・盛岡について他人が思っていること知ることができ、自分と同じ意見もあり、盛岡の良さを再認識できた。
- ・議員の公約や意見を知ることができた。
- ・新しい価値観や考え方に触れられたこと。他の人の見方がとても参考になった。
- ・「将来自信をもって紹介したいと感じる盛岡市」というイメージになった。
- ・年上の人と話す機会や盛岡市の行政に関わっている人の意見を聞くことができて勉強になった。自分たちにはない考え方があり、未来や自分の将来についてより考えられた。
- ・議員をしているからだけでなく、盛岡に長く暮らす大人としての願いも知れたようで嬉しかった。
- ・盛岡市の展望について、大枠は思っていることが同じであり、発言する機会がないだけだとわかった。
- ・様々な視点から盛岡市の良いところや改善点を認識できた。
- ・「盛岡市の現状や理想」といった普段聞けない話を聞くことができて面白かった。

## ○議員の雰囲気

- ・話し方や価値観が若い。
- ・終始和やかに接していただけてとても話しやすかった。
- ・盛岡のことを真剣に考え、盛岡のために活動していることが伝わってきた。
- ・とても優しく温かい雰囲気で落ち着いて話せた。男性の議員が多いと感じた。
- ・親しみやすい。仲良くなりたい
- ・気さくで穏やかで話しやすかった。ワーク中に会話を主導してもらったので助かった。
- ・イメージより明るく話しやすかった。
- ・活気がある。
- ・目を合わせて聞いてくれて話しやすかった。
- ・自分や他の学生の意見をしっかり聞いてくれた。
- ・様々な視点から意見を得られた。

## 2 参加議員の所感

### ○参加しての所感

- ・若い方々や盛岡以外で育った方々の視点に触れることができ非常に有意義であり、私たちの視点に触れていただけたことも、有意義に感じていただけたのではないかと思います。本取り組みは、開かれた議会に向けて継続して取り組みたいと感じた。
- ・大学生の盛岡市に対するそれぞれの思いや視点が感じとれてよかった。
- ・若い世代の鋭い感性や紡がれる言葉に大いに感銘を受けた。
- ・市内出身者、県外出身者に関わらず、盛岡に対する郷土愛や諸課題を持っている。
- ・考えがしっかりしている。参加する前は嫌々ながらも、参加して良かったと言っていたことが嬉しかった。
- ・若い人の考えなどにパワーを感じ、前向きで応援したくなる。
- ・盛岡の未来について真剣に語る姿に感心させられた。県外出身の学生も盛岡に対して好感を持ってくれており、地元に戻ってから盛岡の応援団であって欲しいし、そのようにさせる盛岡でなければならない。

### ○意見交換の内容やテーマについての所感

- ・議会として取り組む意義からも良いと思う。
- ・「盛岡市の現状と10年後のあるべき姿」というテーマについては良かった。
- ・「10年後の盛岡」について考えること自体が、他者の立場と未来に責任を持つという立場に立てるテーマだとあらためて気づかされた。
- ・「盛岡の現状について」とSOUNDカードの設問はつながりにくく、少し難しい。
- ・10年後は盛岡に住んでいないかとも言いながらも真剣に考えて発言してくれた。
- ・県外出身者の視点を入れることができた。
- ・10年後に変わってほしくないという思いもあり、今のままで良い所を認めていることに感謝。
- ・SOUNDカードの内容が多岐にわたり、いろいろな角度から意見交換をすることができたが、1人1分程度の時間は短いので、テーマを2～3点に絞る方が議論が深まる。

### ○意見交換の中で出された意見（心に残った言葉）や所感

- ・「新しいことを大切に」…初めに耳にしたときは「古いものも同じように大切にしてほしい」と感じたが、「古いものも大切にしながらも、より良いものにしていくために努力していかなければならない」という意味と知り、良く考えていると感心した。
- 「盛岡駅しょばい」…東京の駅との比較だが、盛岡にいとこれが当たり前と感じており、価値観の違いを踏まえて、施策に当たらなければと感じた。ただ、東京の駅と同じ様でなければならないとは思いません。

- ・進学で盛岡市に住むようになった学生が、「住んでから少しずつ盛岡が好きになってきて、卒業後に自分の好きな仕事が盛岡にあって就職できたら住み続けたい」と話していたのが嬉しく感じた。若者が転居せずに働ける場所が盛岡に多くあるように企業の立ち上げ支援や誘致に力を注ぐことが更に必要と考える。
- ・「世界平和が前提、大もと」…その意識を常に持ち続けていることへの尊敬と自分もそうであろうと思った。
- ・10年後も盛岡らしさ（自然、環境、人柄）を残してほしい。
- ・盛岡の良いところ。は、都市の中や周りに自然が豊かにあることで、その強みを生かしてほしい
- ・盛岡の道路は凍ることが切実な問題なので、ぜひロードヒーティングを増やしてほしい。
- ・「あたたかい」「人が良い」という言葉。
- ・災害は、「忘れたところにやってくる」のではなく、「忘れたからやってくる」。
- ・「選択をするのは自分」
- ・人と人との距離が近いと感じる。
- ・議員さんとの懇談会はあまり行きたくないというのが本音だったが、話をしてみて議員さんをととても身近に感じて、参加してよかった。
- ・税金を下げたらいいという意見があった。

### 3意見交換会の振り返り（当日の個人ワークより）

10年後にあって欲しい盛岡の姿	それに向けて取り組みたいこと（または、必要なこと）
現在の盛岡が持つ雰囲気の良いさを持ち続ける	自分が所属するコミュニティを良好な雰囲気にする
	静かで落ち着いた街並みや攻撃的でない人柄を継続
	盛岡らしさとは何かを考えたい。
	地域の人との交流を増やし、後世に盛岡の歴史や良さを引き継いでいく。
大学を卒業しても「盛岡に住みたい」と思える街	産業育成を進め、職と生活の両立につながる対策
	盛岡の人の良さや穏やかな風土を発信
国内外や市内外の人が楽しめる街	外国人観光客への英語対応や盛岡市の都市部以外（自然）に目を向けてもらう。個人店の継承。
	食べ物以外の魅力を市民が作り出すため、盛岡についてもっと知るとともに、あってほしいものを考える
	場所によって街並みの雰囲気を変え、観光客の印象に残る街になってほしい
若い世代が、自由に良好な環境で過ごせる街	盛岡に貢献できる消費行動をし、地域のイベントに積極的に参加する。

自然と調和した景観を残し、全ての人が「盛岡はやっぱりいいな」と思ってもらえる街	子育てや就労の安定的な対策、高齢者を含めた安心して生活できる環境づくり
盛岡らしさを残した住みやすい街、子どもが生みやすく、安心した子育てができる街	常に自分自身のアップデートを忘れず、課題解決に必要な能力を高め、挑戦をする
都会的で自然資源が豊富な唯一無二の観光の街	食べ物以外にも市民が作り出す魅力が必要。盛岡についてもっと知る必要がある
	移住者や地元の日地がより便利だと感じられるものが必要
大学生が地元と比べて「自慢であり、あこがれの盛岡」	共に学び、共に考え、共に行動する場を多数創出する
住んでいる人が誇りを持つ街	知る、行く、話すの3ステップ
経済的不安を感じることなく生活できる社会	相談できる窓口や誰にでも優しい政治を目指す
困っている人にやさしい街	自分の思いを言える場であり、思いを共有することできる議会にもっと参加しやすい環境を目指す
盛岡の魅力的な部分を持ち続けながらも先進的なものを積極的に取り入れる街	他の市などの現状を踏まえて自分なりに考える。
誰もが参加できるコミュニティがたくさんある盛岡	子ども食堂や地域のイベントに積極的に参加したい

### ＜その他＞

- ・地域の人と関わる機会を増やし、盛岡市についてより知っていきたい。
- ・国際交流イベントの増加や平和学習体験、コミュニティ活動に興味を持ってもらう。
- ・時代に合った視点や価値観を大切にしつつ、盛岡の持つ親しみやすさや歴史風土は残す。
- ・大学と盛岡市とのつながりを強化し、大学の起業支援制度を活用して盛岡市の雇用機会を増やす。
- ・他者や隣人に優しい街を作るため、今日の言葉を心に刻んで自身の役割を果たし、後継にバトンタッチしてほしい。
- ・10年後振り返っても「盛岡で過ごせてよかった」と思えるよう、盛岡でしかできないことを体験し、後悔のない学生生活を送りたい。
- ・政治にエンターテインメント性があり、政治の話題が家庭や職場でも自由に議論できるようになればいいなと感じている。

